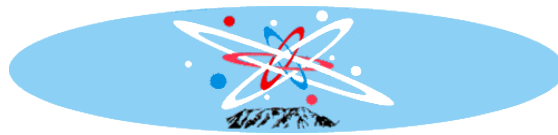


富山みらいロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリーは機会の扉を開く



国際ロータリー第 2610 地区

2020. 9. 29 発行

No. 11

創 立 1997. 6. 4

承 認 1997. 6. 18

2020-2021 年度 R I テーマ “ Rotary Opens Opportunities “

～ ロータリーは機会の扉を開く ～

第 1084 回 例会の記録

2020年 9月15日(火) 例 会 場 富山第一ホテル3階天平の間

司 会 三浦副SAA

開 会 点 鐘 山田会長

ソ ン グ 「 それでこそロータリー 」

「 未来のために 」

四つのテスト唱和

山田会長

誕 生 日 祝

入部会員(9月16日) 津幡会員(9月17日) 吉田泰彦会員(9月19日)

林清滋会員(9月21日) 三浦会員(10月1日) 山崎会員(10月5日)

林清滋会員夫人(9月20日) 廣瀬会員夫人(9月22日) 山崎会員夫人(9月23日)

結 婚 記 念 日 祝

津幡会員・筏井会員(9月17日) 斉藤会員(9月23日) 翠田会員(9月26日)

出 席 報 告

【総員数：76名】

※()内はメーキャップ人数

当 日 (9月15日)	53 (7) / 76	出席率 69.74 %
前々回 (9月 1日)	57 (2) / 76	出席率 75.00 %

幹 事 報 告

布目幹事より

ニコボックス

・8月25日に初孫が生まれました

河内さん

・お祝いをありがとうございます

入部さん

・誕生日祝をいただいて

三浦さん

・誕生お祝いをいただいて

吉田泰彦さん

・私と妻の誕生日祝いをいただいて

林清滋さん

・妻の誕生日祝をいただいて

遠藤さん

・結婚お祝いをいただいて

翠田さん

・早退おわび

吉田誠さん

会員による会員紹介

田村会員から押川会員を紹介

卓 話

翠田会員 「 コロナ禍で思うこと 」

閉 会 点 鐘

山田会長

本日 第1084回例会プログラム

2020年 9月29日(火) 於：富山第一ホテル3階天平の間

夜間例会と観月会

10月の行事予定

10月 6日(火)	職業奉仕委員会による卓話 例会終了後、理事役員会	於：13階ルミエール 於：13階ルミエール
13日(火)	米山奨学生による卓話	於：3階天平の間
20日(火)	第1回職場訪問	於：ネットヨタ富山株式会社
27日(火)	杉本会員による卓話	於：3階天平の間

お知らせ

○例会変更

10月 8日(木)	富山西RC	観月会【富山電気ビル】9:30~13:30
12日(月)	富山シティーRC	職場訪問例会【富山第一ホテル】9:30~13:30
16日(金)	富山南RC	職場訪問例会【富山電気ビル】9:30~13:30
26日(月)	富山大手町RC	職場訪問例会【ANA クラウンプラザホテル富山】15:30~19:30

*今後の状況によっては例会変更が取消しになることもございますので、ご注意ください。

○ニコボックス累計金額	52件	240,000円
○米山記念奨学会寄付金	1件	100,000円(特別寄付金累計金額 21,851,681円)
○R財団寄付金	0件	0\$
○ロータリー適用相場のお知らせ	1ドル	106円

Zoom を利用した例会参加について

今年度より Zoom を利用して例会に参加できるようになりました。
例会前日に接続先をご案内いたしますので、
欠席予定の方はご利用ください。

『ロータリーの友』 電子版へのアクセス方法

- ①『友』のウェブサイトへアクセス <https://www.rotary-no-tomo.jp/digital/>
- ②ID: rotary パスワード: rotary を入力
- ③電子版画面を開く 「閲覧する」のリンクをクリックすると別画面が開き、誌面が読めます

*毎月1日午前0時に最新号が掲載されますので、いち早くチェックできます

◆ 翠田 章男 会員による卓話 ◆



「 コロナ禍で思うこと 」

(1) 2020年の新年の挨拶回りで話したこと。

- ① 富山では、全く雪が降らないこと（冬の国体は、はたして開催できるか?）。
- ② 首都圏では、真夏のオリンピックの困難と、テレワークの話。

(2) テレワークを実行してみて、2通りあることが分かった。

- ① 本来あるべきテレワーク。
※多様な働き方が可能で、通勤時間ゼロで生産性が上がり、環境にも良い働き方。
- ② コロナ禍の緊急避難的テレワーク。
※優先業務が曖昧だと生産性が上がらず、一人ではモチベーションも維持しにくい。

(3) 間接業務の内容と成果の見える化のための「活動予実」アプリ。

- ① テレワークの生産性が上がらないが、実はそれはオフィスワークも同様であること。
- ② 工場などの直接業務は活動の内容と成果が見えるが、間接業務は見えていない。
- ③ 「活動予実」アプリをつくり、間接業務のPDCAを上司と部下で共有することとした。
※まずは、業務内容を定義し、予定（P）、実績（D）、振り返り（CA）を行う。

(4) コロナ禍は仕事の評価基準が変わる契機となるか？

- ① これまで、直接業務同様に、間接業務の評価も成果ではなく就労時間で行ってきた。「24時間働けますか？」はそんなに昔ではない。長時間労働が美德であった時代に施行された労基法は労働を時間で評価してきた。
- ② 「モノからコト」「モーレツからビューティフルへ」と時代は変わっているのに労基法は変わらない、という状況下で、会社は社員の安全配慮義務を担い、就労時間を管理している。もし副業で長時間労働や怪我などがあれば誰が責任をもち、何で保障するのか？テレワークも含め副業が推奨される動きがあるが、副業には2種類（価値創出型、労働集約型）あるので区別する必要あり。副業を問題視するのではなく、間接業務を時間評価していることを問題としたい。
- ③ コロナ禍は仕事の評価基準が、就労時間評価から成果評価型へ変わる契機となるのではないか？そのことに対応する法律の見直しが必要だと思う。

(5) 働き方改革の実現に必要なことは？

- ① 働き方改革の主たるアウトプットは、「働く時間を短くし、給料を多くする」こと。
- ② 「働き方改革こそが労働生産性を改善するための最良の手段」というが、目的と手段が逆ではないか？「労働生産性を上げることが、働き方改革を実現する最良の手段」のように思える。今は、生産性を上げられないまま、形だけの働き方改革を追いかけているので、大企業の手に残った残業が中小企業にしわ寄せされたり、場合により、社内の仕事から社外へシフトし、それが「副業」に形を変えたりしている。
- ③ 生産性を上げる手段としてデジタル・トランスフォーメーション（DX）は不可欠だろう。

(6) DXは万能か？

- ① 中西進館長の言、普遍的な価値観「真・善・美」は、「知性・意志・感情」の本質。真は、正誤など理論に関わることで将来は人間の仕事領域からAIやロボットが代替。一方で、善や美は理論では説明できず、人間の仕事としてますます価値が高まる。
- ② DXは全てを解決するのか？時間の差は多少あるが、DXによる高効率はやがて、世の中の当たり前になる。DXによって生み出された時間や便益をしっかりと活用して、「信頼、お役立ち、おもてなし、感動」等、DXには不向きな要素「善・美」に結び付けることが大切だと思う。デジタル化が進めば進むほど、非デジタルの価値が高くなる。

(7) after コロナに向けて

- ① 日本は、先進国中で著しくデジタル化が遅れており、また、間接業務では就労時間評価に矛盾が生じ、結果として生産性が上がらない。
- ② コロナ禍はこのような、もともと日本の底流に生じていた課題を一気に露呈させた。このwithコロナの機に、afterコロナに向けて、課題を明確にし変革を行いたい。

災害義援金について

第2720地区 熊本豪雨災害への義援金送金のご報告

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃はロータリー活動に多大なるご協力ご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、先般ご案内いたしました第2720地区熊本豪雨災害への義援金に対し、下記の通り送金いたしましたのでご報告申し上げます。ここに、謹んで協力頂いたロータリアン並びに各クラブに感謝申し上げます。

記

義援金総額	1,395,006 円
送金先	第2720地区 ガバナー 硯川 昭一
送金日	2020年9月7日

以上

ご協力ありがとうございました。

第2700地区 福岡豪雨災害への義援金送金のご報告

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃はロータリー活動に多大なるご協力ご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、先般ご案内いたしました第2700地区福岡豪雨災害への義援金に対し、下記の通り送金いたしましたのでご報告申し上げます。ここに、謹んで協力頂いたロータリアン並びに各クラブに感謝申し上げます。

敬具

記

義援金総額	1,366,895 円
送金先	国際ロータリー第2700地区ガバナー事務所事務局長
送金日	2020年9月7日

以上

ご協力ありがとうございました。

それぞれの災害へ、会員1人当たり500円の義援金をニコボックスより、送金させていただきました。

例会日：火曜日
12時30分

例会場：富山第一ホテル

事務局：〒930-0082 富山県富山市桜木町10-10 富山第一ホテル5F

TEL (076) 441-1737 FAX (076) 441-2824

事務局携帯電話 090-5683-3660

E-mail: info@toyama-mirai.net URL: <http://www.toyama-mirai.net>